

【保健事業】

2025年度 胃内視鏡検査(胃カメラ)について、健康保険組合が 費用補助します

定期健康診断の法定外項目である胃部レントゲン検査の代替検査として、胃がんを早期発見して早期治療を行っていただくために、一次検診の費用を補助します。

※年度ごとに書類、補助内容は変更する予定です。ご注意ください。

※人間ドックでの胃内視鏡検査は、予め補助適用後の自己負担額で受診いただけるため、該当しません。

胃内視鏡検査(胃カメラ)の受診補助概要

■対象(2026年3月31日基準日)

- ・35歳以上(年度末年齢)の当健保組合の被保険者、保険証記号1001～1118
- ・受診日当日にTDK健康保険組合の資格があること
- ・定期健康診断で胃部レントゲン検査が受けられず、産業医の判断、所見をもって事前にTDK健康保険組合に変更申出書が提出され受理されていること

■胃内視鏡検査(胃カメラ)の受診方法(2025年4月1日～2026年3月31日、いずれか1回のみ)

- ①会社が指定する定期健診機関にて同時受診
- ②医療機関にて健診として受診(自己負担なし、請求書発行) ※人間ドックを除く
- ③医療機関にて健診として受診(自己負担10割) ※人間ドックを除く

■変更申出書について

被保険者が健康管理室または健康診断担当者へ[「変更申出書」](#)提出します

■その他

医療機関にて請求書の発行ができない場合は、**保険証を使わないで健診として全額受診費用を支払ってください。**
後日TDK健康保険組合へ検査に要した費用を請求することができます。(補助申請)
[「補助申請」](#)には、領収書原本と[健診結果](#)を添付してください。

■注意事項

検査中に発見された潰瘍、ポリープの切除等の保険診療扱いとなる場合や、治療目的で受けた検査は補助の対象外となります。

問合せ先

TDK健康保険組合 保健事業担当 TJP.contact_kenpo@tdk.com